

「公共工事土量調査入力システム」

Ver. 2008. 0. 2

操作説明書

平成25年2月

目 次

1.	目的	1
2.	「公共工事土量調査入力システム」の基本機能と特徴	1
2-1	主な機能	1
2-2	動作環境	1
2-3	活用方法	2
3.	公共工事土量調査入力システム全体図	3
4.	操作方法	5
4-1	公共工事土量調査入力システムの起動	5
4-2	メインメニュー（初期画面）	6
4-3	データ登録	7
4-4	公共工事土量調査データ出力	26
4-5	公共工事土量調査データ取り込み	29
4-6	登録工事一覧表印刷	33
5.	提出用ファイルフォーマット	37
6.	公共工事土量調査メンテナンス	40
6-1	公共工事土量調査メンテナンスの起動方法	40
6-2	操作方法	40

1. 目的

「公共工事土量調査入力システム」は、WEBオンラインシステムである「建設発生土情報交換システム」の未加入者を対象に、公共工事土量調査（予定調査・実績調査）項目を入力し、「建設発生土情報交換システム」に取り込むための調査データを作成するために開発されたシステムです。

2. 「公共工事土量調査入力システム」の基本機能と特徴

2-1 主な機能

「公共工事土量調査入力システム」は、公共工事土量調査（予定調査、実績調査）の調査項目の入力（入力部）、及び登録工事一覧表、公共工事土量調査データ出力等の一連の作業を機能化しています。

入 力 部	出 力 部
<ul style="list-style-type: none">・ 新規工事登録・ 登録工事の変更・削除・ 削除データの復元・ 重複データのチェックと削除・ 公共工事土量調査データ取り込み (複数ファイルの結合)	<ul style="list-style-type: none">・ 登録工事一覧表印刷・ 公共工事土量調査データ出力

2-2 動作環境

コンピュータ/プロセッサ (PC/AT互換機のみ) *2	: Pentium(R) 200MHz 以上推奨
OS	: Windows2000 Professional WindowsXP Home Edition/Professional Edition WindowsVista Home/Business/Ultimate Windows7 Professional (32bit/64bit)
メモリ	: Windows2000/XP は、64MB 以上 WindowsVista は、1GB 以上 Windows7 Professional (32bit) は、1GB 以上 Windows7 Professional (64bit) は、2GB 以上
ハードディスク *インストール時に必要な ハードディスクの空き容 量を記載しています。	: 公共工事土量調査入力システム 40MB 以上 PDF マニュアル 5MB 以上 Acrobat Reader 5.05 30MB 以上
ディスプレイ (解像度) (色数)	: 800×600 以上 (1024×768 以上を推奨) 256 色以上
必要ソフトウェア	: Microsoft Excel 2000/2003

* 1 Microsoft、Windows、Microsoft Access、Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Type Manager、Distiller は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、それぞれの各社の商標、登録商標、製品名です。なお、本文中にはTMおよび(R) マークは明記していません。

* 2 Windows2000/XP における、制限ユーザー (Users 権限ユーザー) での利用には対応していません。

2-3 活用方法

(1) 「公共工事土量調査入力システム」の配布

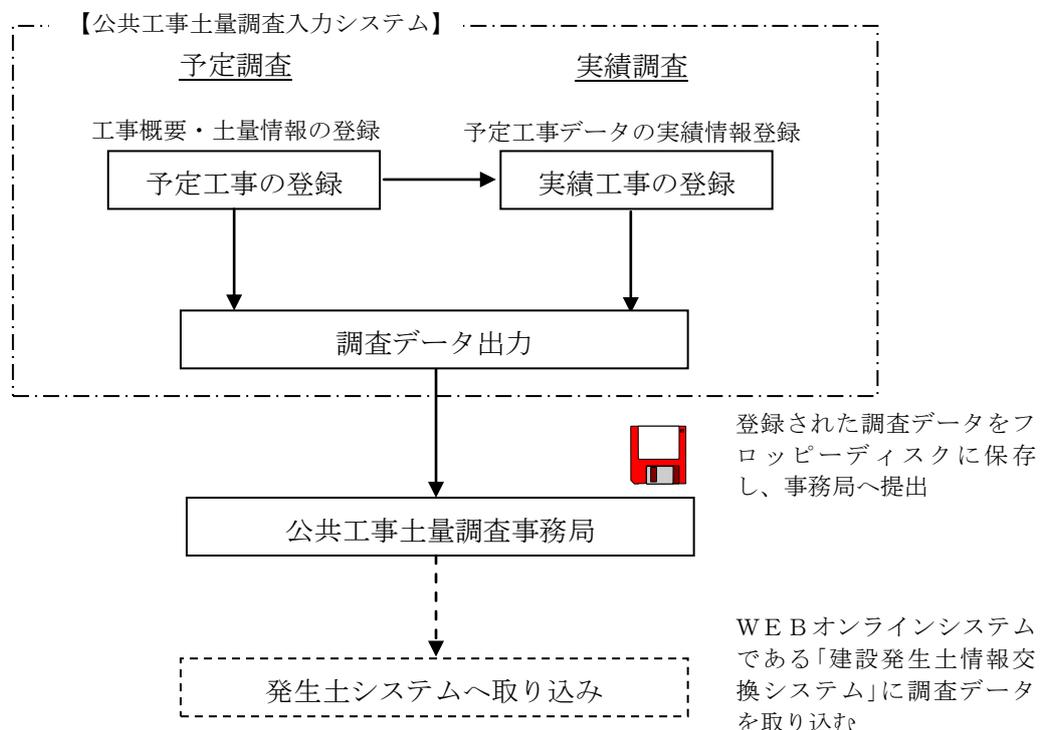
「公共工事土量調査入力システム」は、CD-ROMで各地方公共工事土量調査事務局より配布されます。

また、国土交通省のホームページ

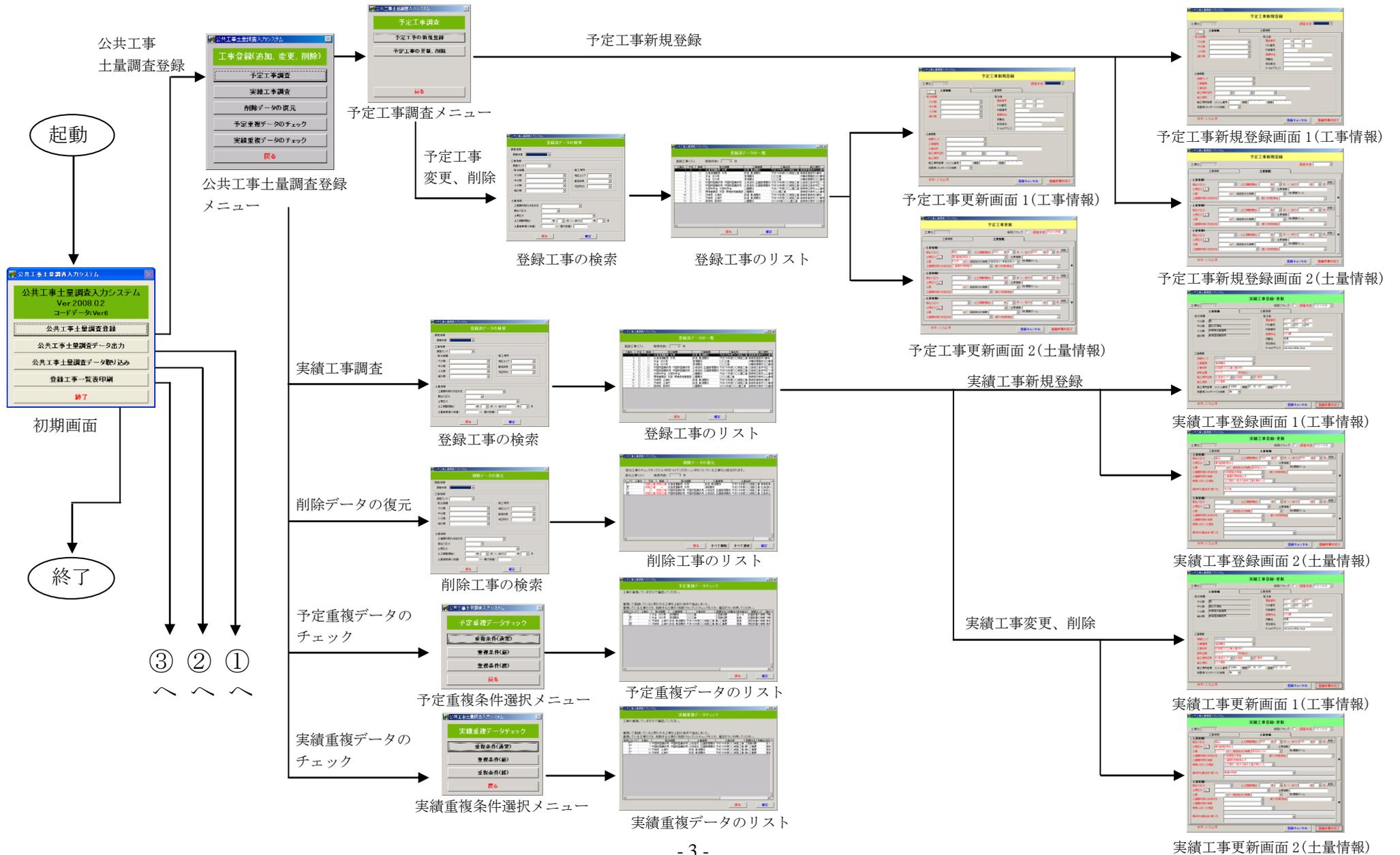
(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/refrm.htm>) より、利用者が必要に応じて任意に転送する（ダウンロード）方式も併用しています。

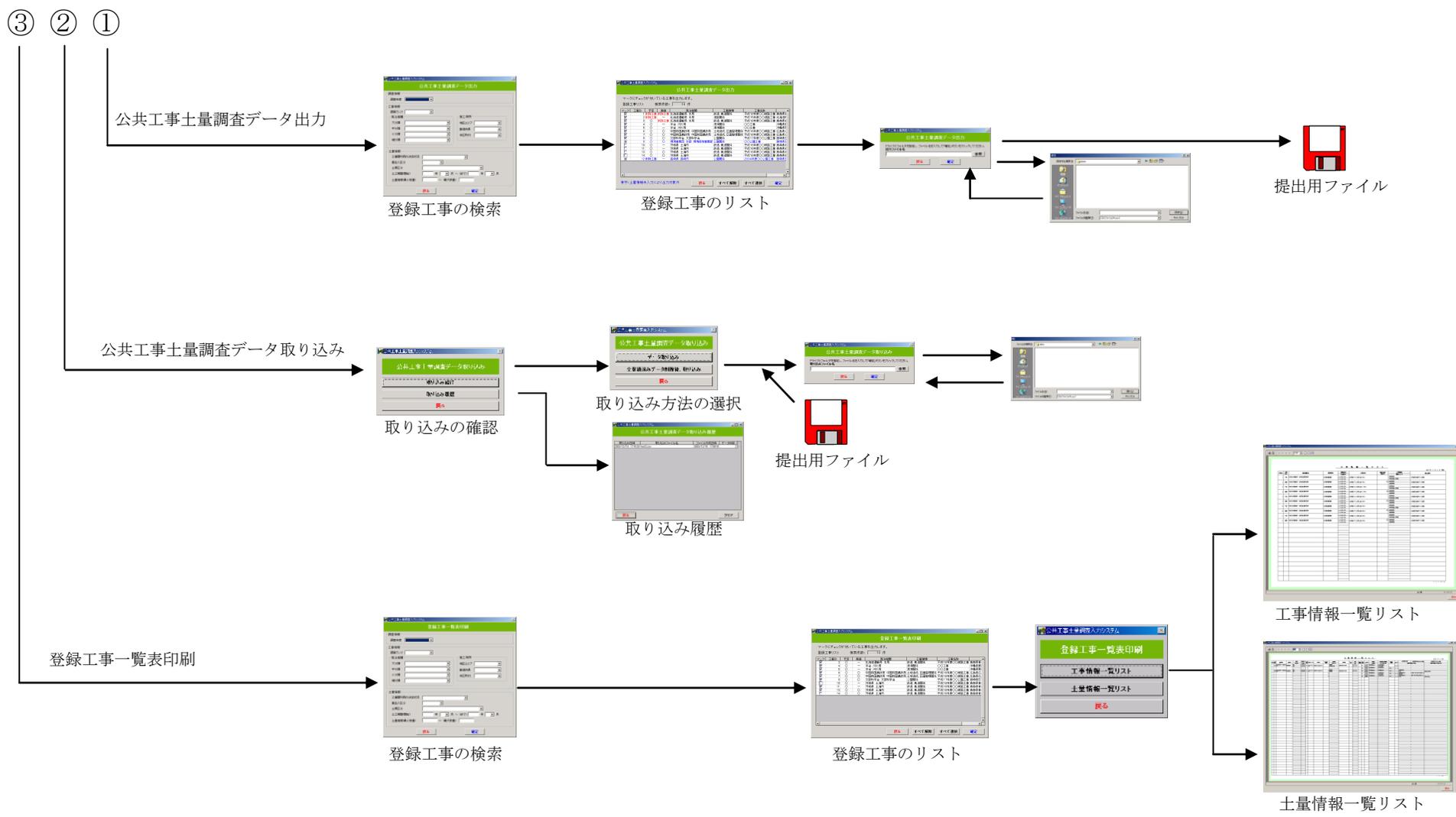
(2) 活用フロー

「公共工事土量調査入力システム」への登録から、建設発生土情報交換システムへ取り込むまでの活用方法は以下のとおりです。



3. 公共工事土量調査入力システム全体図





4. 操作方法

4-1 公共工事土量調査入力システムの起動

デスクトップに作成した「公共工事土量調査入力システム」をダブルクリックしてください。(画面1-1)

公共工事土量調査入力システムが起動します。

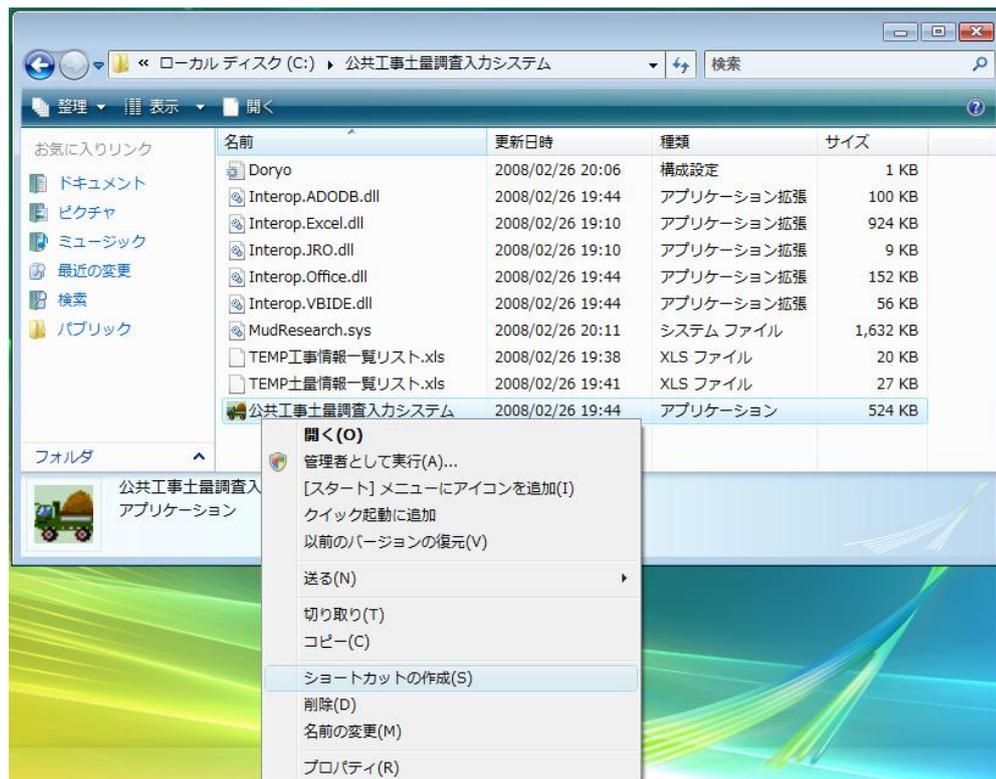


【画面1-1 公共工事土量調査入力システムの起動】

※ ショートカットの作成

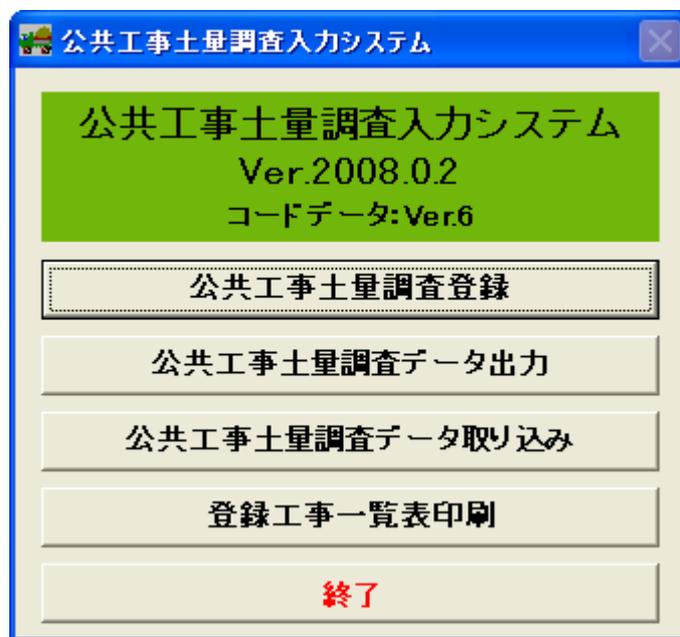
コピーしたディレクトリ内に「公共工事土量調査入力システム」があります。右ボタンでクリックして「ショートカットの作成」を選択してください。

作成されたショートカットをデスクトップにコピーしておいてください。



4-2 メインメニュー（初期画面）

公共工事土量調査入力システムを起動すると、以下の「メインメニュー（初期画面）」が表示されます。（画面2-1）



【画面2-1 メインメニュー（初期画面）】

【機能の説明】

a) [公共工事土量調査登録]

予定工事調査、実績工事調査の工事登録を行う機能です。予定工事の新規登録や更新・削除、実績工事の登録や更新・削除、削除データの復元、予定重複データのチェック、実績重複データのチェックを行うときに利用します。

b) [公共工事土量調査データ出力]

登録した公共工事土量調査の調査データをCSV形式でファイル出力する機能です。公共工事土量調査のとりまとめ機関に提出するときに利用します。

c) [公共工事土量調査データ取り込み]

[公共工事土量調査データ出力] 機能で出力された調査データ（CSV形式ファイル）を本入力システムに取り込む機能です。各事務所等から送られてきた調査データを取りまとめるときに利用します。

d) [登録工事一覧表印刷]

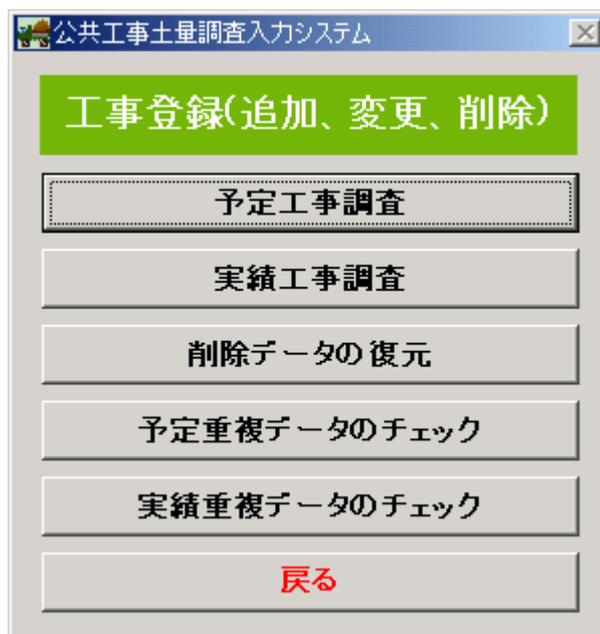
本入力システムに登録されている工事の一覧表を印刷する機能です。本システムに登録されている公共工事土量調査データを確認するときに利用します。

e) [終了]

本システムを終了します。

4-3 データ登録

「メインメニュー（初期画面）」（画面2-1参照）より、「公共工事土量調査登録」ボタンをクリックしてください。以下の「工事登録（追加、変更、削除）」画面が表示されます。（画面3-1）

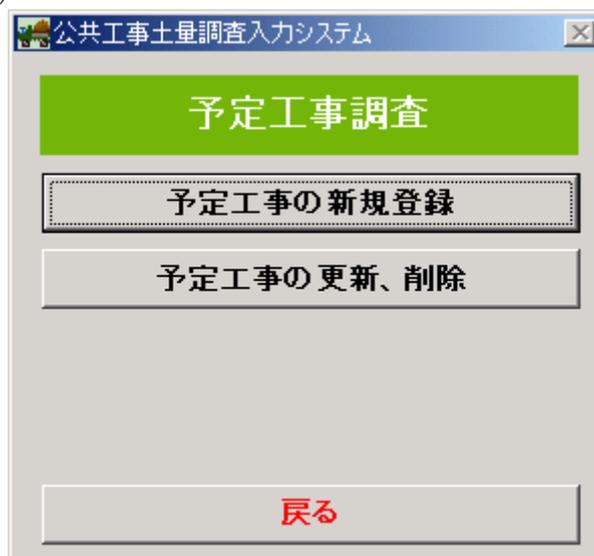


【画面3-1 工事登録（追加、変更、削除）】

(1) 予定工事調査の新規登録、(2) 予定工事調査の更新・削除、(3) 実績工事調査の登録、(4) 削除データの復元、(5) 予定重複データのチェック、(6) 実績重複データのチェックを行うことができます。

(1) 予定工事調査の新規登録

① 「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面3-1参照）で「予定工事調査」ボタンをクリックしてください。予定工事情報の新規登録および、更新、削除を選択する画面が表示されます。（画面3-2）



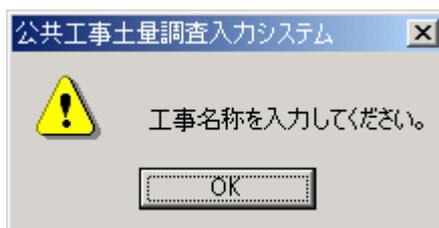
【画面3-2 予定工事調査】

- ②「予定工事調査」画面で「予定工事の新規登録」ボタンをクリックしてください。予定工事情報を新規登録する画面が表示されます。（画面3-3）
- ③まず、最初に予定工事調査を行った「調査年度」を選択してください。
- ④「工事情報」画面の内容に従って、項目の入力および、選択を行ってください。初期表示では「工事情報」タブの内容（画面3-3）が表示されます。

【画面3-3 予定工事新規登録①】

画面上の赤字で表示されている項目は必須入力であり、1つでも未入力項目がある場合は「登録作業の完了」ボタンをクリックし保存しようとしても画面3-4のようなエラーメッセージが表示され保存できません。

また、入力、選択に誤りがある場合にもエラーメッセージが表示され保存できません。データを再度確認し、入力、選択しなおしてください。入力、選択項目については、表3-1を参照してください。



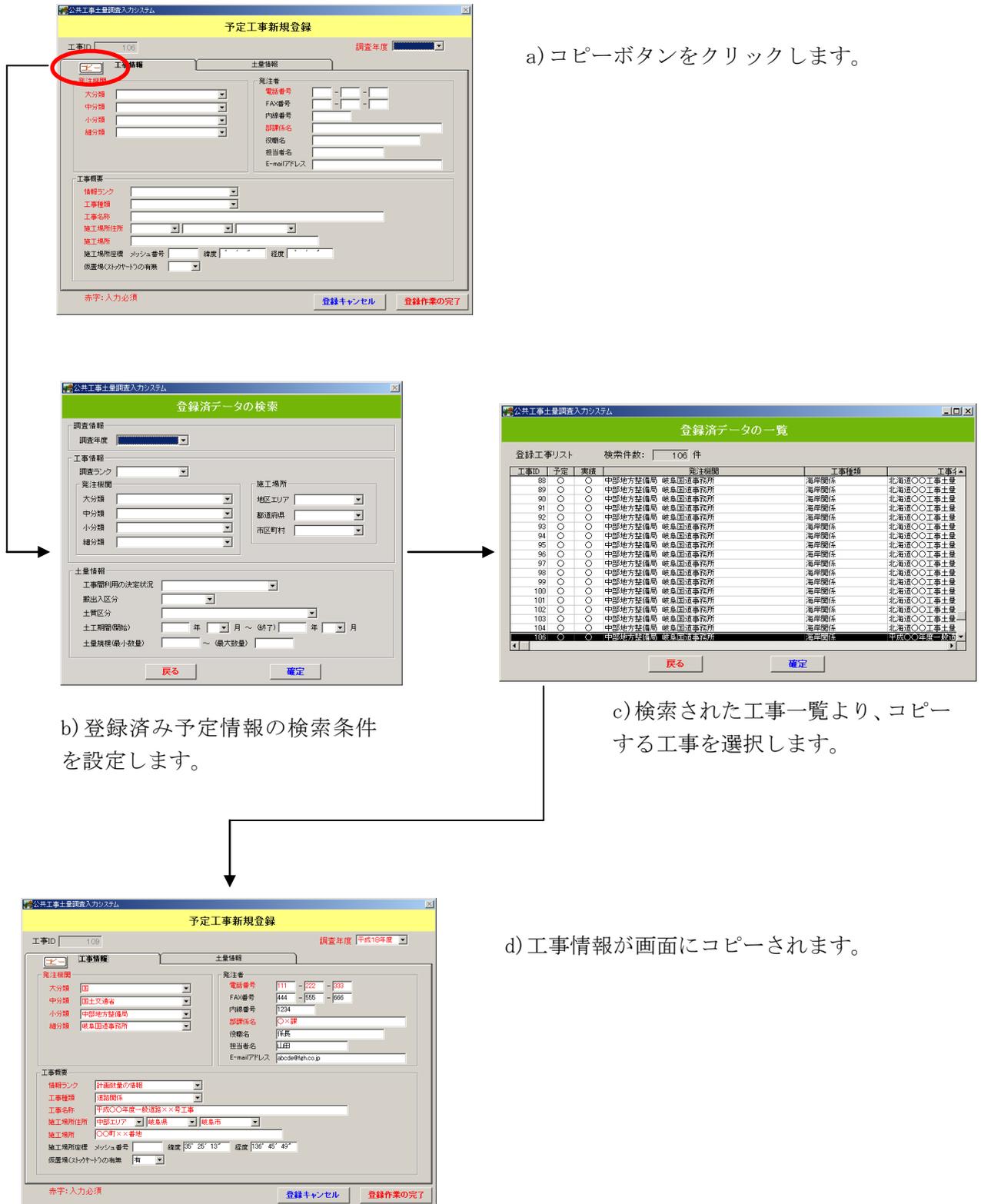
【画面3-4 エラーメッセージ】

表 3 - 1 入力、選択項目の説明

入力・選択項目	説明
発注機関	上より、大分類、中分類、小分類、細分類の順に選択する。
施工場所住所	左より、地区エリア、都道府県エリア、市区町村エリアの順に選択する。
電話番号	半角数字 4 桁ずつ入力可能（但し、最大 1 0 桁まで）
FAX 番号	半角数字 4 桁ずつ入力可能（但し、最大 1 0 桁まで）
内線番号	半角数字のみ入力可能
請負金額	半角数字のみ入力可能（※実績入力時のみ）
E-mail アドレス	半角英数字のみ入力可能（但し半角カンマ、半角スペースは入力不可）
メッシュ番号	半角数字 6 桁のみ入力可能
緯度	半角数字 6 桁のみ入力可能（00° 00' 00"）
経度	半角数字 7 桁のみ入力可能（000° 00' 00"）
工事名称	全角文字のみ入力可能（但し全角スペースは入力不可）
土工期間（年）	半角数字 4 桁入力可能（0000）
土量	半角数字 7 桁入力可能（0, 000, 000）
最終的な搬出先搬入元	プルダウン内の項目より選択する。（※実績入力時のみ） プルダウンがその他のとき、自由入力欄は必須入力とする。
実現できなかった理由	プルダウン内の項目より選択する。（※実績入力時のみ） プルダウンがその他のとき、自由入力欄は必須入力とする （※実績入力時、「工事間利用の有無」：工事間利用実現せず 選択時のみ）
その他入力項目	全角文字のみ入力可能
その他選択項目	プルダウン内の項目より選択する。

- ⑤ [コピー] ボタンをクリックすると登録済みの工事情報から内容をコピーし、本画面にセットすることができます。

【コピー処理の流れ】



- ⑥ 「工事情報」の入力が完了したら、「土量情報」タブをクリックしてください。「土量情報」入力画面に切り替わります。(画面3-5)
- ⑦ 「土量情報」画面が表示されます。「土量情報」画面の内容に従って、項目の入力および、選択を行ってください。

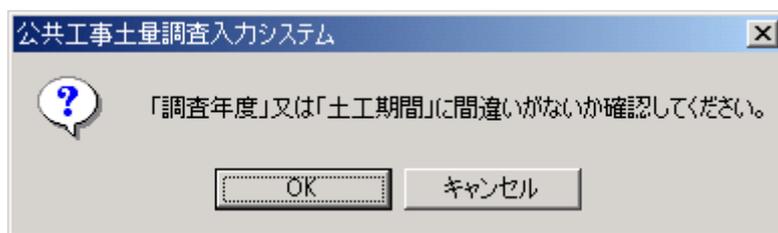
【画面3-5 予定工事新規登録②】 4件目以降の入力ができます。

画面上の赤字で表示されている項目は必須入力であり、1つでも未入力項目がある場合は [登録作業の完了] ボタンをクリックし保存しようとしても画面3-4のようなエラーメッセージが表示され保存できません。

また、入力、選択に誤りがある場合にもエラーメッセージが表示され保存できません。データを再度確認し、入力、選択しなおしてください。入力、選択項目については、表3-1を参照してください。

土量情報は一つの工事情報につき最大15件まで登録することができます。4件目以降のデータを入力する場合は、▼ボタンをクリックしてください。

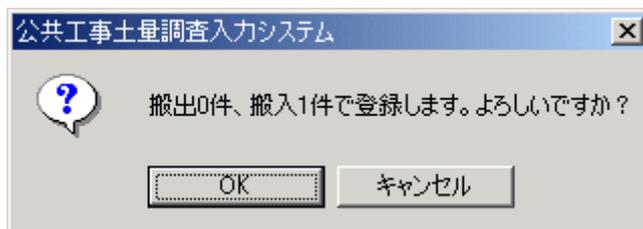
- ⑧「工事情報」と「土量情報」の入力が終わったら、[登録作業の完了] ボタンをクリックして入力したデータを保存してください。入力した「土工期間」が、「調査年度」の当年度内で選択されていないときは確認メッセージが表示されます。



【画面3-6 確認メッセージ①】

確認を行う場合には「キャンセル」ボタンをクリックし、データの確認、再入力を行ってください。

「登録作業の完了」を続行する場合には、「OK」ボタンをクリックしてください。以下の確認メッセージが表示されます。



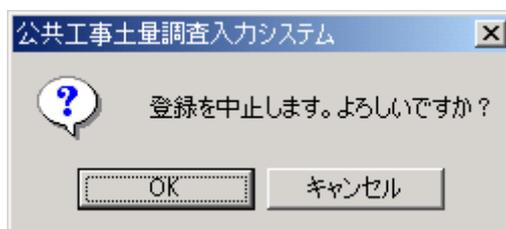
【画面3-7 確認メッセージ②】

「登録作業の完了」を中止する場合には、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「登録作業の完了」を続行する場合には、「OK」ボタンをクリックしてください。

※「工事情報」のみの登録も可能です。但し、「工事情報」のみの予定工事情報について実績工事情報を登録することはできません。

- ⑨入力したデータを保存しない場合は、[登録キャンセル] ボタンをクリックしてください。以下の確認メッセージが表示されます。



【画面3-8 確認メッセージ③】

「登録のキャンセル」を中止する場合には、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

「登録のキャンセル」を続行する場合には、「OK」ボタンをクリックしてください。

(2) 予定工事の更新、削除

- ① 「予定工事調査」画面（画面3-2参照）で [予定工事の更新、削除] ボタンをクリックしてください。登録済みの予定工事を検索する画面が表示されます。（画面3-9参照）
- ② 全ての工事情報を表示する場合は、全ての項目を未選択として [確定] ボタンをクリックしてください。データを絞りこむ場合は、予定工事の検索条件を入力し、[確定] ボタンをクリックしてください。条件に該当する工事の一覧が表示されます。（画面3-10参照）また、該当する工事がない場合は、「検索結果0件でした。」と表示されます。

公共工事土量調査入力システム

登録済データの検索

調査情報
調査年度: []

工事情報
調査ランク: []

発注機関
大分類: []
中分類: []
小分類: []
細分類: []

施工場所
地区エリア: []
都道府県: []
市区町村: []

土量情報
工事間利用の決定状況: []
搬出入区分: []
土質区分: []
土工期間(開始): [] 年 [] 月 ~ (終了) [] 年 [] 月
土量規模(最小数量): [] ~ (最大数量) []

戻る 確定

【画面3-9 登録工事の検索】

③検索結果の登録工事リストが表示されます。(画面3-10) 予定情報の更新、削除を行うには登録工事リスト上で工事を選択し、ダブルクリック又は[確定] ボタンをクリックしてください。

再度検索を行う場合は、[戻る]ボタンをクリックしてください。「登録工事の検索」画面へ戻ります。

工事ID	予定	実績	発注機関	工事種類	工事名
89	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
90	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
91	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
92	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
93	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
94	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
95	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
96	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
97	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
98	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
99	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
100	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
101	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
102	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
103	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
104	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
106	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	平成○○年度一般道
109	○	—	中部地方整備局 岐阜国道事務所	道路関係	平成○○年度一般道

【画面3-10 登録工事のリスト】

既に実績情報が入力済みの工事情報の場合(リストの実績列に”○“が表示されている工事情報)、予定工事の更新を行うことはできません。削除のみ行うことができます。

- ④ 「予定工事新更新」画面に、選択した工事の予定工事情報が表示されます。(画面3-1-1)
- ⑤ 変更の場合は、「工事情報」「土量情報」の変更を行ってください。
 削除の場合は、画面上部の「削除フラッグ」にチェックを入れてください。実績が入力済みの工事情報の場合、実績工事も削除されます。
- ⑥ 「工事情報」「土量情報」の変更又は、「削除フラッグ」にチェックを入れた後、[登録作業の完了]ボタンをクリックしてください。入力したデータを保存しない場合は、[登録キャンセル]ボタンをクリックしてください。

【画面3-1-1 予定工事更新】

削除フラッグにチェックしたデータは、「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面3-1参照）の[削除データの復元]機能により元に戻すことが可能です。

※詳細は(4)削除データの復元を参照ください。

(3) 実績工事調査の登録

- ①「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面3-1参照）で[実績工事調査] ボタンをクリックしてください。登録済みの実績工事を検索する画面が表示されます。（画面3-9参照）
- ②全ての工事情報を表示する場合は、全ての項目を未選択として[確定]ボタンをクリックしてください。データを絞りこむ場合は、実績工事の検索条件を入力し、[確定]ボタンをクリックしてください。条件に該当する工事の一覧が表示されます。（画面3-12参照）また、該当する工事がない場合は、「検索結果0件でした。」と表示されます。
- ③検索結果の登録工事リストが表示されます。（画面3-12）
実績工事が未登録の工事情報の場合、リスト上には予定工事の情報が表示されます。
※但し、土量情報が1件も登録されていない予定工事情報は、登録工事のリストに表示されません。
- ④実績情報の登録を行うには登録工事リスト上で工事を選択し、ダブルクリック又は[確定]ボタンをクリックしてください。
実績未登録の工事（リストの実績列に”-“が表示されている）を選択した場合、実績工事の新規登録を行います。（画面3-13参照）
実績登録済みの工事（リストの実績列に”○“が表示されている）を選択した場合、更新、削除を行います。（画面3-14参照）
再度検索を行う場合は、[戻る]ボタンをクリックしてください。「登録工事の検索」画面へ戻ります。

工事ID	予定	実績	発注機関	工事種類	工事名
89	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
90	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
91	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
92	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
93	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
94	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
95	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
96	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
97	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
98	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
99	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
100	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
101	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
102	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
103	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
104	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	北海道○○工事土量
106	○	○	中部地方整備局 岐阜国道事務所	海岸関係	平成○○年度一般道
109	○	-	中部地方整備局 岐阜国道事務所	道路関係	平成○○年度一般道

【画面3-12 登録工事のリスト】

⑤選択した工事の実績登録画面が表示されます。

- 実績未登録の工事情報を選択した場合、予定工事の内容が実績工事にコピー（複写）され、実績工事の内容として初期表示されます。（画面3-13）必要に応じて、コピーされた実績工事の内容を修正してください。

但し、予定情報で登録された「調査年度」、「発注機関」と「情報ランク」を変更することはできません。

【画面3-13 実績工事登録①】

画面上の赤字で表示されている項目は必須入力であり、1つでも未入力項目がある場合は [登録作業の完了] ボタンをクリックし保存しようとしても画面3-4のようなエラーメッセージが表示され保存できません。

また、入力、選択に誤りがある場合にもエラーメッセージが表示され保存できません。データを再度確認し、入力、選択しなおしてください。入力、選択項目については、表3-1を参照してください。

- 実績登録済の工事情報を選択した場合、登録済みの実績工事情報が表示されます。（画面 3-14）必要に応じて、実績工事の更新又は削除を行ってください。
削除を行う場合は、画面上部の「削除フラグ」にチェックを入れてください。実績工事情報のみ削除されます。

【画面 3-14 実績工事登録・更新】

画面上の赤字で表示されている項目は必須入力であり、1つでも未入力項目がある場合は [登録作業の完了] ボタンをクリックし保存しようとしても画面 3-4 のようなエラーメッセージが表示され保存できません。

また、入力、選択に誤りがある場合にもエラーメッセージが表示され保存できません。データを再度確認し、入力、選択しなおしてください。入力、選択項目については、表 3-1 を参照してください。

- ⑥ 「土量情報」タブをクリックすると土量情報を入力する画面（画面3-15）が表示されます。

【画面3-15 実績工事登録②】3件目以降の入力ができます。

画面上の赤字で表示されている項目は必須入力であり、1つでも未入力項目がある場合は「登録作業の完了」ボタンをクリックし保存しようとしても画面3-4のようなエラーメッセージが表示され保存できません。

また、入力、選択に誤りがある場合にもエラーメッセージが表示され保存できません。データを再度確認し、入力、選択しなおしてください。入力、選択項目については、表3-1を参照してください。

土量情報は一つの工事情報につき最大15件まで登録することができます。3件目以降のデータを入力する場合は、▼ボタンをクリックしてください。

- ⑦ 「工事情報」と「土量情報」の新規登録、更新、又は「削除フラッグ」にチェックを入れた後、「登録作業の完了」ボタンをクリックして入力したデータを保存してください。入力したデータを保存しない場合は、「登録キャンセル」ボタンをクリックしてください。

※ 「工事情報」のみの登録も可能です。但し、「工事情報」のみの工事情報は、「メインメニュー（初期画面）」画面（画面2-1参照）の「公共工事土量調査データ出力」および「登録工事一覧表印刷」において、出力対象外となります。

(4) 削除データの復元

- ①「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面 3 - 1 参照）で [削除データの復元] ボタンをクリックしてください。削除フラグのチェックされたデータを絞りこむための検索条件を設定する画面が表示されます。（画面 3 - 1 6）
- ②全ての削除工事を表示する場合は、全ての項目を未選択として [確定] ボタンをクリックしてください。データを絞りこむ場合は、削除工事の検索条件を入力し、[確定] ボタンをクリックしてください。条件に該当する工事のみが表示されます。（画面 3 - 1 7 参照）また、該当する工事がない場合は、「検索結果 0 件でした。」と表示されます。

公共工事土量調査入力システム

削除データの復元

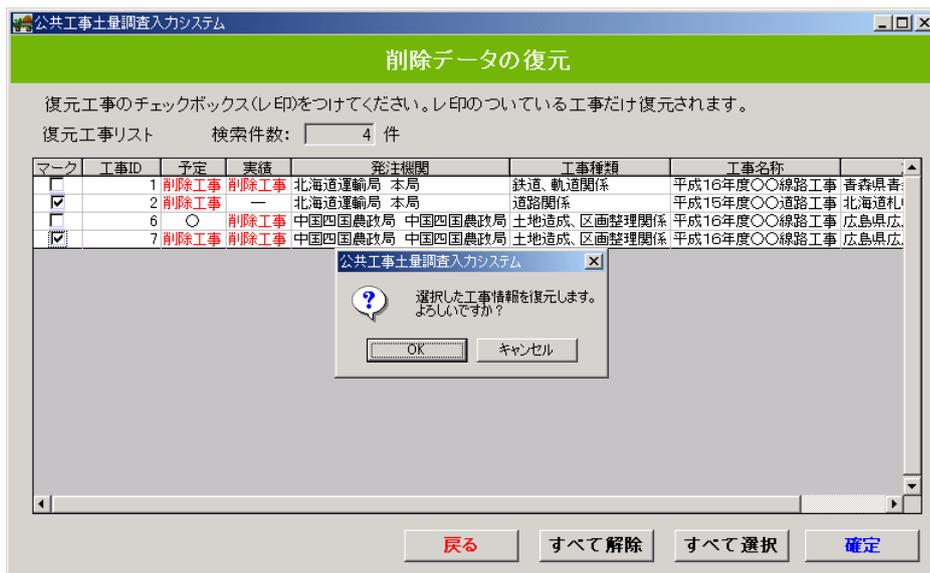
調査情報
調査年度

工事情報
調査ランク
発注機関
大分類
中分類
小分類
細分類
施工場所
地区エリア
都道府県
市区町村

土量情報
工事間利用の決定状況
搬出入区分
土質区分
土工期間(開始) 年 月 ~ (終了) 年 月
土量規模(最小数量) ~ (最大数量)

【画面 3 - 1 6 削除データの検索（削除データの復元）】

- ③検索結果の復元工事リストが表示されますので、復元する工事の「マーク」欄をクリックして、チェック（レ印）を付けてください。（複数選択可）
 全ての工事を復元する場合は、[すべて選択] ボタンをクリックしてください。全てのチェックを外す場合は、[すべて解除] ボタンをクリックしてください。
- ④チェック後、[確定] ボタンをクリックしてください。（画面3-17）確認画面が表示されますので、復元を続行する場合は、[OK]をクリックしてください。
 ※予定、実績、両方の工事情報が復元されます。



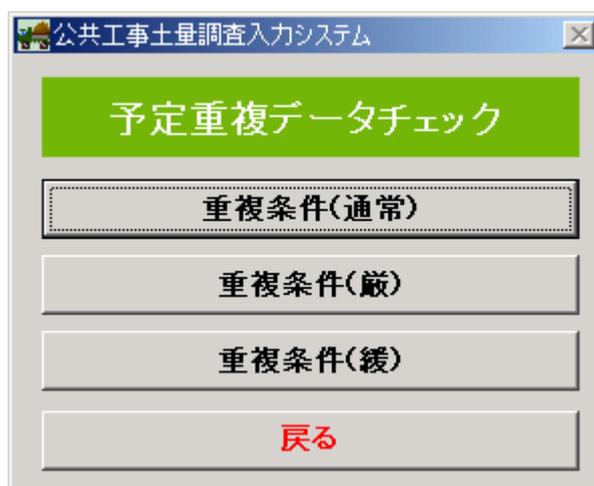
【画面3-17 復元工事リスト】

(5) 予定重複データのチェック

予定重複データのチェックは、間違っって同じ予定工事を登録してしまった場合などに、重複データの候補を表示し、重複データを無効化（削除フラグにチェック）できる機能です。

- ①「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面3-1参照）で [予定重複データのチェック] ボタンをクリックすると、以下の「予定重複データのチェック」画面（画面3-18）が表示されます。

重複条件は、3段階あります。必要に応じてチェックを行う重複条件を選択してください。また、条件に該当する工事が無い場合は、「重複結果0件でした。」と表示されます。



【画面3-18 予定重複データチェック】

●重複条件(通常)

登録された予定工事に、発注機関、工事種類、工事名称、情報ランク、施工場所住所が全て同一のものが存在するかチェックします。

●重複条件(厳)

登録された予定工事に、発注機関、工事種類、工事名称、情報ランク、施工場所住所、施工場所が全て同一のものが存在するかチェックします。

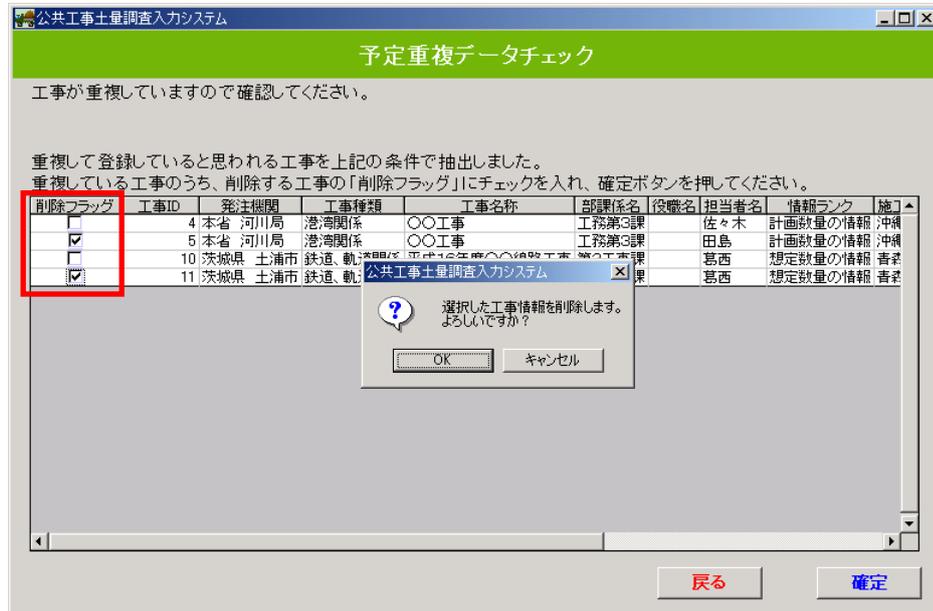
●重複工事(緩)

登録された予定工事に、工事種類、施工場所住所が全て同一のものが存在するかチェックします。

②チェック結果のリストが表示されますので、削除する工事の「削除フラッグ」欄をクリックして、チェック（レ印）を付けてください。（複数選択可）。

③チェック後、[確定] ボタンをクリックしてください。（画面3-19）

確認画面が表示されますので、削除を続行する場合は、[OK]をクリックしてください。



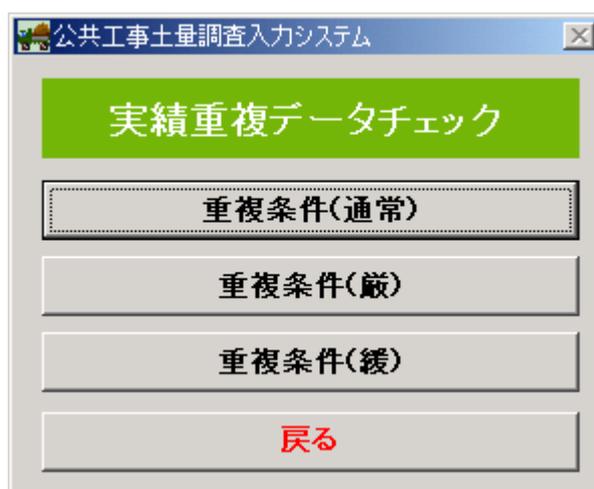
【画面3-19 予定重複のリスト】

(6) 実績重複データのチェック

実績重複データのチェックは、間違っって同じ実績工事を登録してしまった場合などに、重複データの候補を表示し、重複データを無効化（削除フラグにチェック）できる機能です。

- ①「工事登録（追加、変更、削除）」画面（画面3-1参照）で[実績重複データのチェック]ボタンをクリックすると、以下の「実績重複データのチェック」画面（画面3-20）が表示されます。

重複条件は、3段階あります。必要に応じてチェックを行う重複条件を選択してください。また、条件に該当する工事が無い場合は、「重複結果0件でした。」と表示されます。



【画面3-20 実績重複データチェック】

●重複条件(通常)

登録された実績工事に、発注機関、工事種類、工事名称、情報ランク、施工場所住所が全て同一のものが存在するかチェックします。

●重複条件(厳)

登録された実績工事に、発注機関、工事種類、工事名称、情報ランク、施工場所住所、施工場所が全て同一のものが存在するかチェックします。

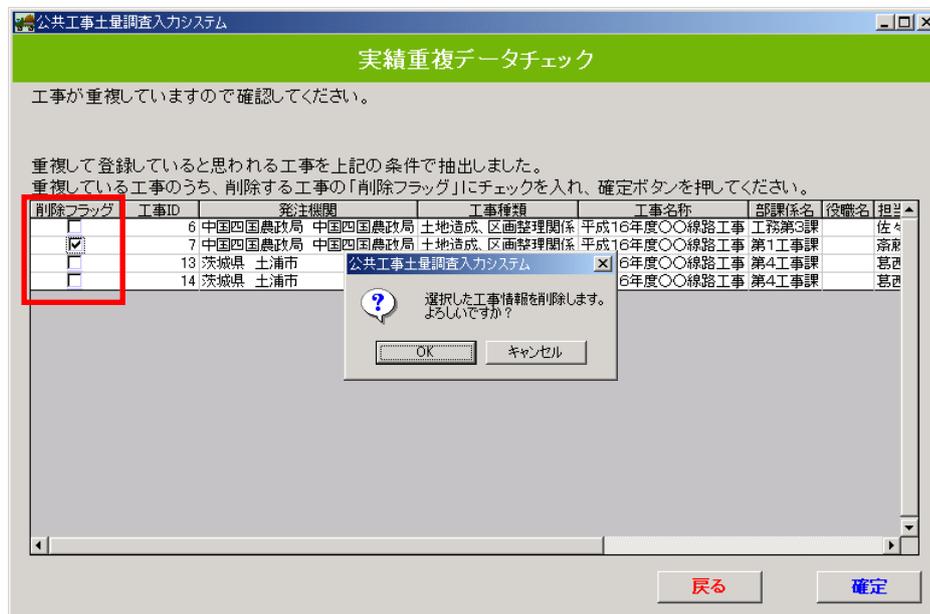
●重複工事(緩)

登録された実績工事に、工事種類、施工場所住所が全て同一のものが存在するかチェックします。

②チェック結果の一覧が表示されますので、削除する工事の「削除フラッグ」欄をクリックして、チェック（レ印）を付けてください。（複数選択可）

③チェック後、[確定] ボタンをクリックしてください。（画面3-21）

確認画面が表示されますので、削除を続行する場合は、[OK]をクリックしてください。



【画面3-21 実績重複のリスト】

4-4 公共工事土量調査データ出力

登録した公共工事土量調査の調査データをCSV形式でファイル出力する機能です。公共工事土量調査のとりまとめ機関に提出するときに利用します。

- ①「メインメニュー（初期画面）」（画面2-1参照）より[公共工事土量調査データ出力]ボタンをクリックしてください。検索条件を設定する画面（画面4-1）が表示されます。
- ②全ての工事情報を表示する場合は、全ての項目を未選択として[確定]ボタンをクリックしてください。データを絞りこむ場合は、工事の検索条件を入力し、[確定]ボタンをクリックしてください。条件に該当する工事の一覧が表示されます。（画面4-2参照）また、該当する工事が無い場合は、「検索結果0件でした。」と表示されます。

公共工事土量調査入力システム

公共工事土量調査データ出力

調査情報

調査年度

工事情報

調査ランク

発注機関

大分類

中分類

小分類

細分類

施工場所

地区エリア

都道府県

市区町村

土量情報

工事箇利用の決定状況

搬出入区分

土質区分

土工期間(開始) 年 月 ~ (終了) 年 月

土工規模(最小数量) ~ (最大数量)

【画面4-1 登録工事の検索（公共工事土量調査データ出力）】

- ③検索結果の登録工事リストが表示されますので、出力する工事の「マーク」欄をクリックして、チェック（レ印）を付けてください。（複数選択可）
 全ての工事を入力する場合は、[すべて選択] ボタンをクリックしてください。全てのチェックを外す場合は、[すべて解除] ボタンをクリックしてください。

※提出済みの工事データで削除した工事については、削除工事も出力データとして選択してください。

- ④チェック後、[確定] ボタンをクリックしてください。（画面4-2）

マーク	工事ID	予定	実績	発注機関	工事種類	工事名称
<input checked="" type="checkbox"/>	1	削除工事	削除工事	北海道運輸局 本局	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input checked="" type="checkbox"/>	2	削除工事	—	北海道運輸局 本局	道路関係	平成15年度〇〇道路工事 北海道
<input checked="" type="checkbox"/>	3	〇	削除工事	北海道運輸局 本局	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input checked="" type="checkbox"/>	4	〇	—	本省 河川局	港湾関係	〇〇工事 沖縄県
<input checked="" type="checkbox"/>	5	〇	—	本省 河川局	港湾関係	〇〇工事 沖縄県
<input checked="" type="checkbox"/>	6	〇	〇	中国四国農政局 中国四国農政局	土地造成、区画整理関係	平成16年度〇〇線路工事 広島県
<input checked="" type="checkbox"/>	7	〇	〇	中国四国農政局 中国四国農政局	土地造成、区画整理関係	平成16年度〇〇線路工事 広島県
<input checked="" type="checkbox"/>	8	〇	〇	文部科学省 文部科学省	公園関係	平成17年度〇〇公園工事 宮崎県
<input checked="" type="checkbox"/>	9	〇	〇	環境事業団 本部 環境緑地事業部	公園関係	〇〇公園工事 宮崎県
<input type="checkbox"/>	10	〇	—	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input type="checkbox"/>	11	〇	—	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input type="checkbox"/>	13	〇	〇	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input type="checkbox"/>	14	〇	〇	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度〇〇線路工事 青森県
<input checked="" type="checkbox"/>	12	削除工事	—	長崎県 長崎市	公園関係	2004年度〇〇公園工事 宮崎県

青字: 土量情報未入力により出力対象外

戻る すべて解除 すべて選択 確定

【画面4-2 登録工事リスト】

土量情報が未入力の工事情報は青字で表示され、出力することはできません。
 削除フラッグをつけた工事は、赤字で削除工事と表示されます。

- ⑤出力ファイルを指定する画面（画面4-3）が表示されます。[参照] ボタンをクリックしてください。

ドライブとフォルダを指定し、ファイル名を入力して「確定」ボタンをクリックしてください。

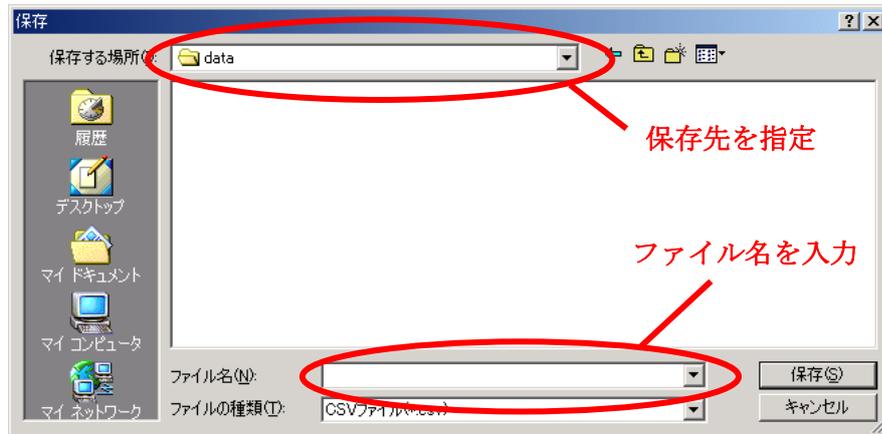
出力ファイル名

参照

戻る 確定

【画面4-3 出力ファイルの指定】

- ⑥ 「保存」画面（画面4－4）が表示されますので、出力ファイルの保存先とファイル名を指定して[保存]ボタンをクリックしてください。



【画面4－4 出力ファイルの保存先とファイル名の指定】

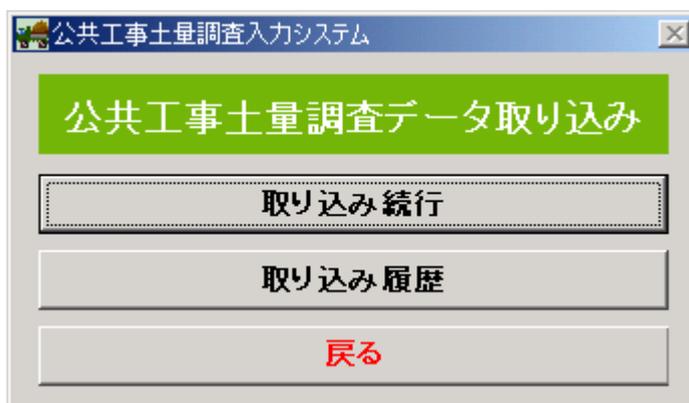
- ⑦ 出力ファイルを指定する画面（画面4－3参照）に戻りますので、保存先とファイル名を確認して、[確定]ボタンをクリックしてください。指定した保存先にファイル（CSV形式）が出力されます。

4-5 公共工事土量調査データ取り込み

[公共工事土量調査データ出力] 機能で出力された調査データ（CSV形式ファイル）を本入力システムに取り込む機能です。各事務所等から送られてきた調査データを取りまとめるときに利用します。

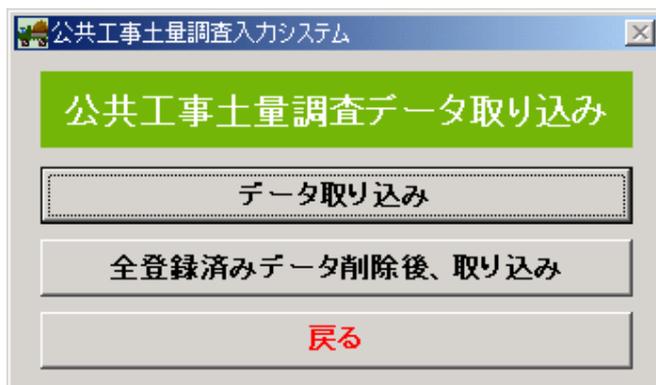
(1) ファイル取り込み

- ① 「メインメニュー（初期画面）」（画面2-1参照）より[公共工事土量調査データ取り込み] ボタンをクリックしてください。「公共工事土量調査データ取り込み」画面が表示されます。（画面5-1）
- ② [取り込み続行]ボタンをクリックしてください。



【画面5-1 公共工事土量調査データ取り込み】

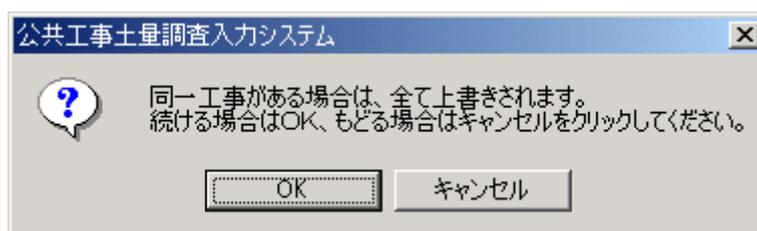
- ③取り込み方法を選択する「公共工事土量調査データ取り込み」画面が表示されますので、必要に応じて2種類の取り込み方法より選択してください。(画面5-2)



【画面5-2 取り込み方法の選択】

●データ取り込みを行う場合

本入力システムに登録されている工事データを残したまま CSV ファイルの内容を取り込みます。以下の確認メッセージが表示されますので、取り込みを続行する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



【画面5-3 確認メッセージ】

※取り込み先と CSV ファイルに同一工事が存在する場合、そのデータを削除した後、取り込みます。

※取り込む CSV ファイルが、既に取り込み済みの CSV ファイルと「ファイル名」、「ファイルサイズ」、が同じで、「ファイル更新日時」が同じ又は古い場合には、ファイルを取り込むことはできません。「ファイル更新日時」は、秒単位までを比較対象としています。

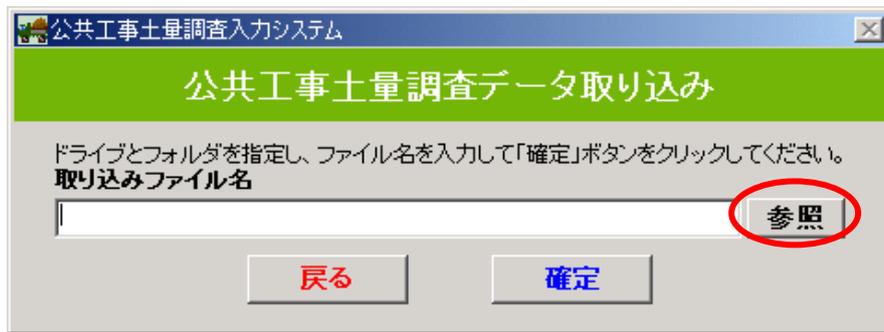
●登録済みデータ全削除後、取り込みを行う場合

本システムに登録されている工事情報を全て削除してから、新規で取り込みを行います。

※削除を行う場合は、一度、「公共工事土量調査データ出力」機能で調査データを CSV 形式でファイル出力（保存用として保管）してから、削除することをお勧めします。

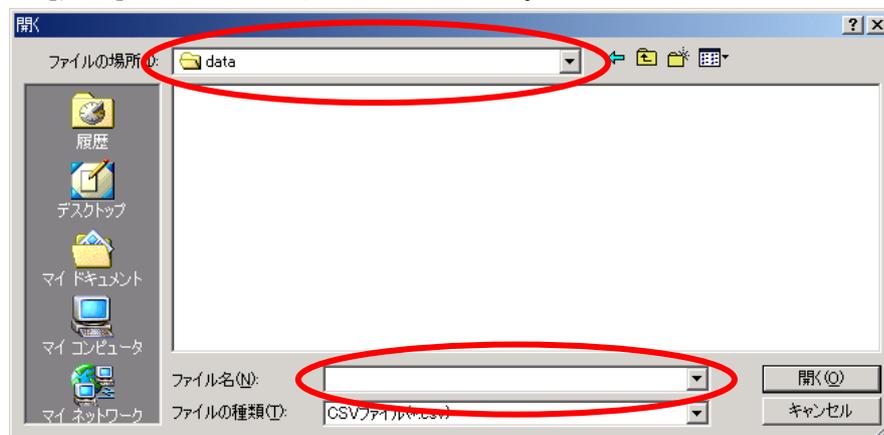
- ④取り込みファイルを指定する画面（画面5-4）が表示されます。[参照]ボタンをクリックしてください。

1



【画面5-4 取り込みファイルの指定】

- ⑤「開く」画面（画面5-5）が表示されますので、取り込みファイルの保存先とファイル名を指定して[開く]ボタンをクリックしてください。



【画面5-5 取り込みファイルの保存先とファイル名の指定】

※取り込み可能なファイル名の長さは、全角40文字までです。

- ⑥取り込みファイルを指定する画面（画面5-4参照）に戻りますので、取り込みファイルの保存先とファイル名を確認して、[確定]ボタンをクリックしてください。

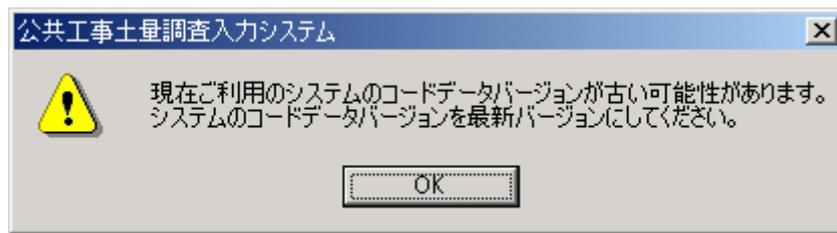
取り込みファイルのコードデータバージョンと、現在お使いのシステムのコードデータバージョンが異なると、以下のようなメッセージが表示され、取り込みを行うことができません。メッセージの内容に沿って対応を行った後、再度取り込み作業を行ってください。

- 取り込みデータのコードデータバージョンが古い場合



【画面5-6 エラーメッセージ】

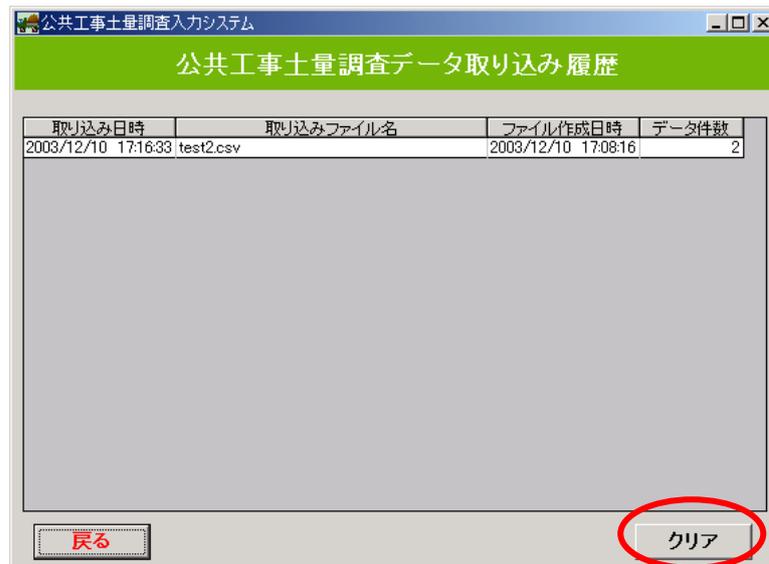
- 利用しているシステムのコードデータバージョンが古い場合



【画面 5 - 7 エラーメッセージ】

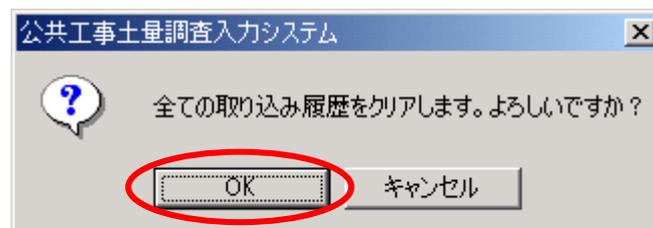
(2) 取り込み履歴

- ①「メインメニュー（初期画面）」（画面 2 - 1 参照）より[公共工事土量調査データ取り込み] ボタンをクリックしてください。「公共工事土量調査データ取り込み」画面が表示されます。（画面 5 - 1 参照）
- ②[取り込み履歴]ボタンをクリックしてください。
- ③取り込み履歴の画面が表示されますので、内容を確認してください。（画面 5 - 8）



【画面 5 - 8 公共工事土量調査データ取り込み履歴】

- ④取り込み履歴を全てクリアする場合は、[クリア]をクリックしてください。確認画面（画面 5 - 9）が表示されますので、[クリア]を続行する場合は、[OK]をクリックしてください。



【画面 5 - 9 確認メッセージ】

4-6 登録工事一覧表印刷

工事情報一覧表リスト、土量情報一覧表リストの印刷を行います。

- ①「メインメニュー（初期画面）」（画面2-1参照）より、[登録工事一覧表印刷] ボタンをクリックしてください。検索条件を設定する画面が表示されます。（画面6-1参照）
- ②全ての工事情報を表示する場合は、全ての項目を未選択として[確定]ボタンをクリックしてください。データを絞りこむ場合は、印刷する工事の検索条件を入力し、[確定]ボタンをクリックしてください。条件に該当する工事の一覧が表示されます。（画面6-2参照）又、該当する工事がない場合は、「検索結果0件でした。」と表示されます。

※「工事情報」のみの工事は表示されません。

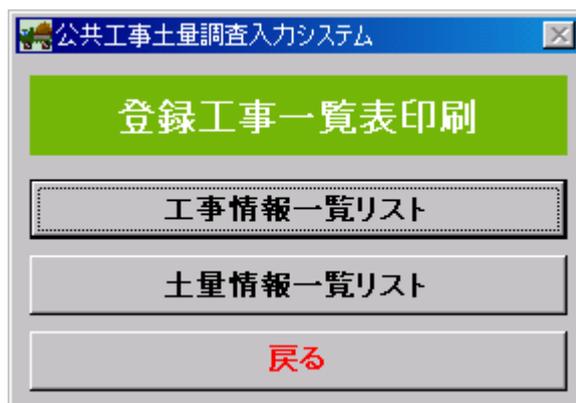
【画面6-1 登録工事の検索（登録工事一覧表印刷）】

- ③検索結果の登録工事リストが表示されますので、一覧表印刷する工事の「マーク」欄をクリックして、チェック（レ印）を付けてください。（複数選択可）チェック後、[確定] ボタンをクリックしてください。（画面6-2）

マーク	工事ID	予定	実績	発注機関	工事種類	工事名称
<input checked="" type="checkbox"/>	3	○	—	北海道運輸局 本局	鉄道、軌道関係	平成16年度○○線路工事 青森県青
<input checked="" type="checkbox"/>	4	○	—	本省 河川局	港湾関係	○○工事 沖縄県那
<input checked="" type="checkbox"/>	5	○	—	本省 河川局	港湾関係	○○工事 沖縄県那
<input checked="" type="checkbox"/>	6	○	○	中国四国農政局 中国四国農政局	土地造成、区画整理関係	平成16年度○○線路工事 広島県広
<input checked="" type="checkbox"/>	7	○	○	中国四国農政局 中国四国農政局	土地造成、区画整理関係	平成16年度○○線路工事 広島県広
<input checked="" type="checkbox"/>	8	○	○	文部科学省 文部科学省	公園関係	平成17年度○○公園工事 宮崎県日
<input checked="" type="checkbox"/>	10	○	—	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度○○線路工事 青森県青
<input checked="" type="checkbox"/>	11	○	—	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度○○線路工事 青森県青
<input checked="" type="checkbox"/>	13	○	○	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度○○線路工事 青森県青
<input checked="" type="checkbox"/>	14	○	○	茨城県 土浦市	鉄道、軌道関係	平成16年度○○線路工事 青森県青

【画面6-2 登録工事リスト（登録工事一覧表印刷）】

④印刷するリストの種類を選択します。(画面6-3)



【画面6-3 リスト種類の選択】

⑤選択したリストがExcel上で確認できます。(画面6-4、6-5)

工事区分	発注機関名	標準名	標準番号	工事名称	積算金額(概算)	工事種別	施工場所
1 土木 区補修 土木部	土木部	土木部	001-001-010	工事種別-工事名称		区補修	土木部工事種別-施工場所
1 土木 区補修 土木部	土木部	土木部	001-001-010	工事種別-工事名称	10,000,000	区補修	土木部工事種別-施工場所

【画面6-4 工事情報一覧リスト】

区画番号	区画名称	土量区分	土量標準	土量標準番号	土量名称	土量積算	土量種別	土量場所
1	1	1	1	1	1	1	1	1

【画面6-5 土量情報一覧リスト】

⑥出力するリストについて印刷ボタンをクリックし、印刷してください。
印刷イメージは次頁を参照ください。

土量情報一覧リスト

2007年3月6日現在

工事ID	工事区分	発注機関名	部長係名	役職名		内線番号	E-Mailアドレス	工事名称	踏切金額(税込)	工事種類 情報ランク	施工場所	メッシュ番号	緯度 経度	仮置場の有無	搬出入区分	土工期間	土質区分 土質情報	工事開利用の決定状況 搬入(利用)用途	指定処分 の有無	土量(m ³)	工事開利用の有無		工事開利用できなかった理由
				担当者名	FAX番号																最終的な搬出先・搬入元	最終的な搬出先・搬入元その他	
7	予定	中部地方整備局 岐阜国道事務所	北海道運輸課	係長 澤田	111-222-333 111-222-444	1234	sawada@mhaa.c e.jp	北海道〇〇工事土量3件1		海岸関係 計画数量の情報	北海道札幌市〇〇道路		43° 03' 33" 141° 21' 31"		搬入	2001年5月 2001年6月	第2種建設発生土 工事開利用調整中 工作物の埋戻し		2,222,222				
															搬出	2004年8月 2006年9月	第3種建設発生土 工事開利用決定	指定処分(B)	3,333,333				
7	実績	中部地方整備局 岐阜国道事務所	北海道運輸課	係長 澤田	111-222-333 111-222-444	1234	sawada@mhaa.c e.jp	北海道〇〇工事土量3件1	123	海岸関係 実績情報	北海道札幌市〇〇道路		43° 03' 33" 141° 21' 31"		搬出	2000年5月 2000年6月	第1種建設発生土 利用調整未実施	指定処分(A)	1,111,111		工事開利用実現 その他	茨城県土浦市港町	
									123					搬入	2001年5月 2001年6月	第2種建設発生土 工事開利用決定 工作物の埋戻し	指定処分(A)	2,222,222		工事開利用実現せず 現場内利用	土工開が一致する相手工事が無かった		
									123					搬出	2004年8月 2006年9月	第3種建設発生土 工事開利用決定	指定処分(B)	3,333,333		工事開利用実現せず その他	土質が一致する相手工事が無かった		
8	予定	中部地方整備局 岐阜国道事務所	北海道運輸課	係長 澤田	111-222-333 111-222-444	1234	sawada@mhaa.c e.jp	北海道〇〇工事土量10件1		海岸関係 計画数量の情報	北海道札幌市〇〇道路		43° 03' 33" 141° 21' 31"		搬出	2003年5月 2003年6月	第1種建設発生土 利用調整未実施	指定処分(A)	1,234,567				
														搬入	2003年6月 2003年7月	第2種建設発生土 掘削ローム 工作物の埋戻し		1,234,567					
														搬出	2003年7月 2003年8月	第3種建設発生土 工事開利用決定	指定処分(B)	1,234,567					
														搬入	2003年8月 2003年9月	第4種建設発生土 道路(路床)盛土	自由処分	1,234,567					
														搬出	2003年9月 2003年10月	泥土(建設汚泥を除く) 工事開利用調整中		1,234,567					
														搬入	2003年5月 2003年6月	第1種建設発生土 道路(路床)盛土	指定処分(A)	1,234,567					
														搬出	2003年7月 2003年8月	第2種建設発生土 利用調整未実施	指定処分(B)	1,234,567					
														搬入	2003年8月 2003年9月	第3種建設発生土 工事開利用調整中 土木構造物の裏込め	自由処分	1,234,567					
														搬出	2003年8月 2003年9月	第4種建設発生土 工事開利用調整中	指定処分(B)	1,234,567					
														搬入	2003年8月 2003年9月	第2種建設発生土 工事開利用決定 河川築堤(一般堤防)	自由処分	1,234,567					
8	実績	中部地方整備局 岐阜国道事務所	北海道運輸課	係長 澤田	111-222-333 111-222-444	1234	sawada@mhaa.c e.jp	北海道〇〇工事土量10件1	123	海岸関係 実績情報	北海道札幌市〇〇道路		43° 03' 33" 141° 21' 31"		搬出	2003年5月 2003年6月	第1種建設発生土 利用調整未実施	指定処分(A)	1,234,567		工事開利用実現 他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)		
									123					搬入	2003年6月 2003年7月	第2種建設発生土 掘削ローム 工作物の埋戻し	指定処分(A)	1,234,567		工事開利用実現せず 現場内利用	土工開が一致する相手工事が無かった		
									123					搬出	2003年7月 2003年8月	第3種建設発生土 工事開利用決定	指定処分(B)	1,234,567		工事開利用実現せず 土質改良プラント(再利用工事未定の場合)	土質が一致する相手工事が無かった		
									123					搬入	2003年8月 2003年9月	第4種建設発生土 道路(路床)盛土	自由処分	1,234,567		工事開利用実現 建設発生土ストックヤード			
									123					搬出	2003年9月 2003年10月	泥土(建設汚泥を除く) 工事開利用調整中	指定処分(B)	1,234,567		工事開利用実現せず 土質改良プラント(再利用工事未定の場合)	土質が一致する相手工事が無かった		
									123					搬入	2003年5月 2003年6月	第1種建設発生土 道路(路床)盛土	指定処分(A)	1,234,567		工事開利用実現せず その他	土質が一致する相手工事が無かった		
									123					搬出	2003年7月 2003年8月	第2種建設発生土 利用調整未実施	指定処分(B)	1,234,567		工事開利用実現 海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)			
									123					搬入	2003年8月 2003年9月	第3種建設発生土 工事開利用調整中 土木構造物の裏込め	自由処分	1,234,567		工事開利用実現 土質改良プラント			
									123					搬出	2003年8月 2003年9月	第4種建設発生土 工事開利用調整中	指定処分(B)	1,234,567		工事開利用実現			
									123					搬入	2003年8月 2003年9月	第2種建設発生土 工事開利用決定 河川築堤(一般堤防)	自由処分	1,234,567		工事開利用実現せず 現場内利用	土工開が一致する相手工事が無かった		

5. 提出用ファイルフォーマット

「公共工事土量調査データ出力」機能を利用すると、指定したフォルダに「ファイル名」.csv が作成されます。作成される CSV ファイルの詳細内容は以下のとおり。

CSV ファイルフォーマット

No	分類	データ項目	予定工事	実績工事	入力内容
A	管理コード	機関コード	○	○	機関コード*9桁の数字 例)101010001
B		新規登録日時	○	○	工事の新規登録時、自動付加 例)201210011122334
C		更新登録日時	○	○	例)201210021122334
D		調査ランク	○	○	1:予定工事、2:実績工事
E		施工場所住所コード(地区エリア)	○	○	
F		調査年	○	○	例)2012
G		土量NO	○	○	
H		削除フラッグ	○	○	0:削除しない、1:削除する
I	工事情報	ユーザID	-	-	※JACIC で登録時に付加
J		機関名称	○	○	コード選択(プルダウン)
K		電話番号	△	△	例)03-3505-0416
L		FAX 番号	△	△	例)03-3505-0520
M		内線番号	△	△	例)1234
N		部課係名	○	○	例)道路建設部
O		役職名	△	△	例)主事
P		担当者名	△	△	例)建設太郎
Q		E-Mail アドレス	△	△	例)t-kensetu@xxxx.or.jp
R		情報ランク	○	○	コード表「情報ランク」参照
S		工事種類	○	○	コード表「工事種類」参照
T		工事名称	○	○	例)○○号線道路工事
U		請負金額	-	○	例)50000000 (税込)
V		施工場所住所コード	○	○	コード選択(プルダウン)
W		施工場所	○	○	例)赤坂7丁目
X		施工場所座標(メッシュ番号)	△	△	例)123456
Y	施工場所座標(緯度)	△	△		
Z	施工場所座標(経度)	△	△		
AA	土量情報	仮置場(ストックヤード)の有無	△	△	コード表「仮置場(ストックヤード)の有無」参照
AB		搬出入区分	○	○	コード表「搬出入区分」参照
AC		土工期(開始)	○	○	例)201210 予定調査時点で土工期が確定していない
AD		土工期(終了)	○	○	例)201303 場合は、見込みまたは全体工期を入力
AE		土質区分	○	○	コード表「土質区分」参照
AF		土質情報	△	△	例)関東ローム層
AG		土量	○	○	例)1200
AH		工事間利用の決定状況	○	○	コード表「工事間利用の決定状況」参照
AI		搬入(利用)用途	○	○	コード表「搬入(利用)用途」参照
AJ		指定処分の有無	△	○	コード表「指定処分の有無」参照
AK	実績	工事間利用の有無	-	○	コード表「工事間利用の有無」参照
AL		実現しなかった理由	-	○	コード表「工事間利用が実現しなかった理由」参照
AM		最終的な搬出先・搬入元	-	○	コード表「最終的な搬出先・搬入元」参照
AN		実現しなかった理由その他	-	○	自由記述 ※4
AO		最終的な搬出先・搬入元その他	-	○	自由記述 ※5

○：入力システムの必須入力項目

△：入力システムの任意入力項目

※1 文字列型の項目はダブルクォーテーションでくくって出力する。

※2 機関コードは大分類コード、中分類コード、小分類コード、細分類コードの4項目を結合して出力する。

例) 大分類「1」-中分類「02」-小分類「03」-細分類「0004」の場合、機関コードは「102030004」

※3 施工場所住所コードは、都道府県コード、市区町村コードの2項目を結合して出力する。

例) 都道府県「01」-市区町村「102」の場合、施工場所住所コードは「01102」

※4 実現しなかった理由がその他の場合、必須入力とする。

※5 最終的な搬出先・搬入元がその他の場合、必須入力とする。

入力システムデータ選択項目（コード表）

情報ランク	
コード	コード内容
1	想定数量の情報 ※1
2	計画数量の情報 ※1
5	実績情報 ※2

工事種類	
コード	コード内容
1	河川関係
2	海岸関係
3	砂防・地すべり関係
4	道路関係
5	ほ場整備関係
6	上・工業用水道関係
7	土地造成、区画整理関係
8	公園関係
9	下水道関係
10	空港関係
11	港湾関係
12	建築関係
13	鉄道、軌道関係
99	その他の工事

仮置場(ストックヤード)の有無	
コード	コード内容
1	有
2	無
3	未確定

搬出入区分	
コード	コード内容
1	搬出
2	搬入

搬入(利用)用途	
コード	コード内容
1	工作物の埋戻し
2	建築物埋戻し
3	道路(路床)盛土
4	土木構造物の裏込め
5	道路路体盛土
6	河川築堤(高規格堤防)
7	河川築堤(一般堤防)
8	土地造成(公園・緑地造成)
9	土地造成(宅地造成)
10	水面埋立
11	農地用(盛り土)
12	農地用(作土)
13	鉄道盛土
14	空港盛土
99	上記以外の搬入用途

工事間利用の有無	
コード	コード内容
1	工事間利用実現
2	工事間利用実現せず

工事間利用が実現しなかった理由	
コード	コード内容
1	土工期が一致する相手工事が無かった
2	土質が一致する相手工事が無かった
3	50km圏内に相手工事が無かった
4	予め、公的受入地へ搬出することが決まっていた
99	その他

土質区分		
コード	コード内容	説明
1	第1種建設発生土	砂、礫など
2	第2種建設発生土	砂質土、礫質土など
3	第3種建設発生土	通常の施工性が確保される粘性土など
4	第4種建設発生土	粘性土など
5	泥土(建設汚泥を含まない)	
6	建設汚泥	
9	不明・未定	

工事間利用の決定状況		
コード	コード内容	説明
1	利用調整未実施	再利用工事未定の建設発生土ストックヤードと土質改良プラントを含む ※1 ※2
2	工事間利用調整中	工事間利用が調整中のとき ※1
3	工事間利用決定	再利用工事決定の建設発生土ストックヤードと土質改良プラントを含む ※1 ※2

指定処分の有無		
コード	コード内容	説明
1	指定処分(A)	発注時に指定されたもの
2	指定処分(B)	発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの
3	自由処分	

※1：公共工事土量調査入力システムの予定工事入力において選択する項目です。

※2：公共工事土量調査入力システムの実績工事入力において固定表示される項目です。

最終的な搬出先・搬入元			
工事間利用の有無	搬出入区分	コード	コード内容
1. 工事間利用実現	1 (搬出)	1	他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
		2	土質改良プラント(再利用工事が決まっている場合)
		3	建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)
		4	有償売却
		5	海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)
		6	建設汚泥中間処理施設
		99	その他
	2 (搬入)	1	他の工事現場(陸上)
		2	他の工事現場(海上)
		3	土質改良プラント
		4	建設発生土ストックヤード
		5	他工事の建設汚泥を直接利用した場合
		6	建設汚泥中間処理施設経由で、建設汚泥処理土を利用した場合
		99	その他
2. 工事間利用実現せず	1 (搬出)	1	現場内利用
		2	土質改良プラント(再利用工事未定の場合)
		3	建設発生土ストックヤード(再利用工事未定の場合)
		4	海面処分場(建設発生土の場合)
		5	民間内陸受入地(建設発生土の場合)
		6	建設汚泥中間処理施設
		7	最終処分場(建設汚泥の場合)
		8	公共内陸受入地(建設発生土の場合)
		99	その他
		2 (搬入)	1
	2		新材利用
	99		その他

6. 公共工事土量調査メンテナンス

「公共工事土量調査入力システム」で用いているコード表を最新のものに更新する機能です。

6-1 公共工事土量調査メンテナンスの起動方法

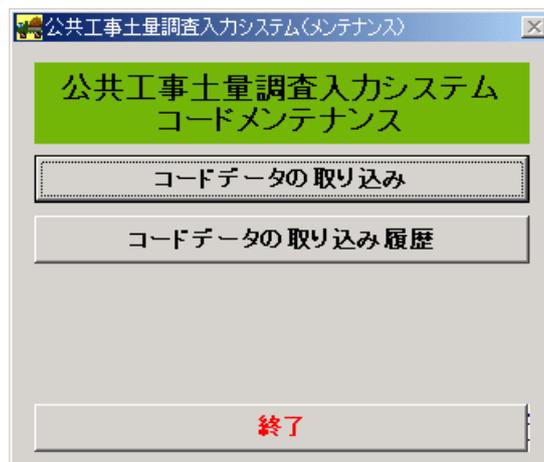
[スタート] メニューから、[スタート] → [プログラム] → [公共工事土量調査入力システム] → [公共工事土量調査メンテナンス] を選択してください。(画面 1-1 参照)

公共工事土量調査メンテナンスが起動します。

6-2 操作方法

6-2-1 メインメニュー

公共工事土量調査メンテナンスを起動すると、以下のメニュー画面が表示されます。(画面 6-1)

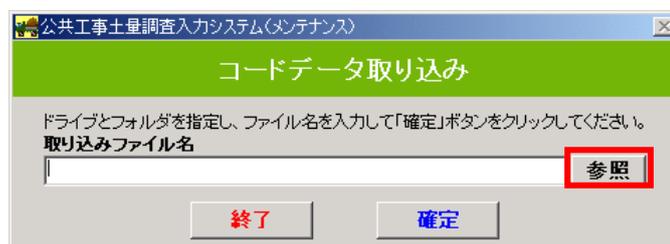


【画面 6-1 メニュー画面】

6-2-2 コードデータの取り込み

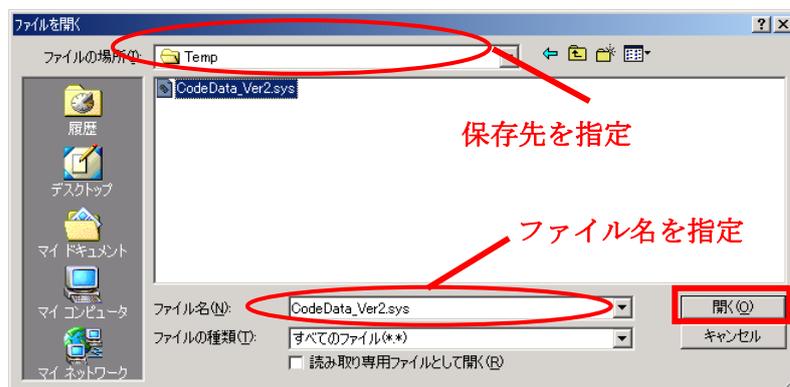
公共工事土量調査入力システムで利用しているコードデータを、最新のコードデータへ更新します。

- (1) メニュー画面 (画面 6-1) の[コードデータの取り込み]をクリックしてください。
- (2) コードデータ取り込み画面 (画面 6-2) が表示されます。[参照]ボタンをクリックしてください。



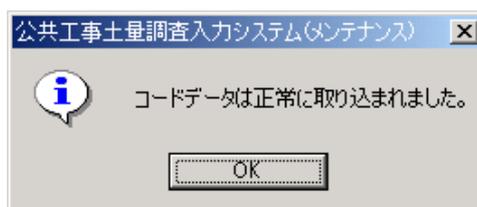
【画面 6-2 コードデータファイル指定画面】

- (3) ファイルを開く画面（画面6－3）が表示されますので、配布されたファイルの保存先とファイル名を指定して[開く]ボタンをクリックしてください。



【画面6－3 コードデータファイルの保存先とファイル名の指定】

- (4) コードデータファイルを指定する画面（画面6－2）に戻りますので、コードデータの保存先とファイル名を確認して、[確定]ボタンをクリックしてください。コードデータの取り込みが正常に終了すると、【画面6－4】のメッセージが表示されます。



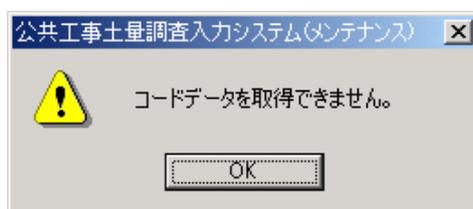
【画面6－4 コードデータの取り込み完了メッセージ】

[OK]ボタンをクリックしてメニュー画面（画面6－1）へ戻ってください。

取り込みを行ったコードデータのバージョン等を確認したい場合には、**6-2-3 コードデータの取り込み履歴**を参照してください。

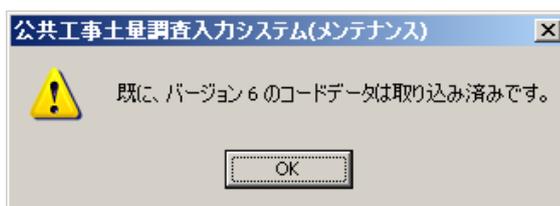
取り込みファイルが正しくない場合には、以下のようなメッセージが表示されます。

- 取り込みファイルに取り込むコードデータテーブルが存在しなかった場合



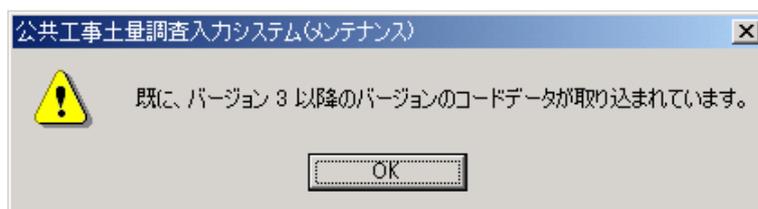
【画面6－5 エラーメッセージ1】

○取り込みファイルに指定されたコードデータのバージョンが、既に取り込み済みの場合



【画面6-6 エラーメッセージ2】

○取り込みファイルに指定されたコードデータのバージョンが、既に取り込み済みのコードデータのバージョンよりも古い場合

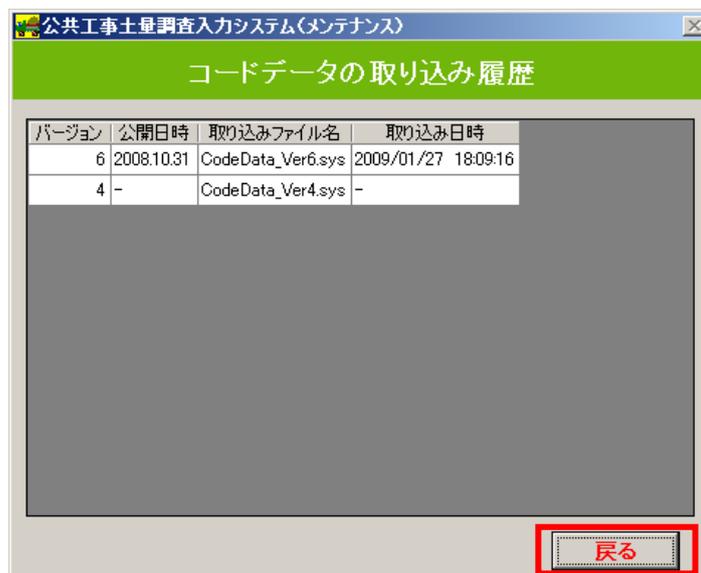


【画面6-7 エラーメッセージ3】

6-2-3 コードデータの取り込み履歴

公共工事土量調査メンテナンス機能を用いて行ったコードデータの取り込み履歴を表示します。

(1) メニュー画面(画面6-1)の[コードデータの取り込み履歴]をクリックしてください。コードデータの取り込み履歴画面(画面6-5)が表示され、今までに取り込みを行ったコードデータの'バージョン' '公開日時' '取り込みファイル名' '取り込み日時'が、表示されます。



【画面6-8 コードデータの取り込み履歴画面】

(2) [戻る]ボタンをクリックして、メニュー画面(画面6-1)へ戻ってください。